

緊急研究会

MMT (Modern Monetary Theory; 現代貨幣理論) の
経済理論をどうとらえるか



Special Lecture

ステファニー・ケルトン

ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校教授
バーニー・サンダース上院議員政策顧問

欧米では、緊縮政策が経済停滞と格差、貧困、気候変動と金融の危機をもたらす一方、それへの反発として極右が台頭しています。しかし、この双方に対抗する革新派（プログレッシブ）の運動も興っています。その背後には、さまざまな反緊縮的経済理論の諸潮流があります。その中でもMMTは、英コービン労働党首の以前のブレンが名乗ったり、米民主党のオカシオ・コルテスが支持を公言したりして有名です。なによりサンダースの経済顧問は、MMT派のステファニー・ケルトン教授です。今回、ケルトン教授の来日にあわせ、反緊縮経済理論の中でのMMTの位置を整理し、日本における反緊縮論の発展の一助にしたいと思います。

Discussion



松尾 匡

立命館大学経済学部教授



飯田 泰之

明治大学政治経済学部准教授



井上 智洋

駒澤大学経済学部准教授

日時

2019年7月17日(水) 13:30~16:00 (13:00開場)

会場

立命館東京キャンパス

定員

事前申込：60名 (申込多数の場合抽選)

主催

立命館大学経済学部

共催

公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ
一般社団法人経済学101 薔薇マークキャンペーン

申込

Webフォーム参加事前申込

2019年6月23日(日) 17:00より受付開始



本研究会参加申込はWebフォームからのみとなります。
左のバーコードを読み取ってフォームにアクセスいただき、
必要事項を入力の上、送信ください。

※参加申込が多数の場合は抽選となります。
※抽選による当選者の方には事務局より参加証をお送りします。

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階



お問い合わせ

研究会開催事務局 (一般社団法人経済学101)

TEL

0742-20-7807

MAIL

event@econ101.jp